

# 2024年9月期 決算ハイライト

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ

2024年11月11日

# 損益概要（連結・2行合算）

(億円)

連結	期初予想	24/9期	前中間期比
経常利益	200	255	114
親会社株主に帰属する中間純利益	135	186	25
ROE（純資産基準）（%）	-	5.73	0.35

2行合算	期初予想	24/9期	前中間期比
コア業務粗利益 …①	625	647	67
資金利益		549	68
うち貸出金利息		447	32
うち有価証券利息		137	31
役務取引等利益		99	△5
その他（国債等債券損益を除く）		△1	4
経費（△）（臨時処理分を除く）	410	399	15
（参考）OHR		61.76%	△4.51%
コア業務純益 …②	215	247	51
投資信託解約損益を除く		249	57
国債等債券損益		△26	106
実質業務純益		221	158
与信関係費用（△）	20	20	52
株式等損益		50	△18
経常利益 …③	215	253	103
特別損益		△2	△33
法人税等（△）		59	52
中間純利益 …④	150	191	17

※業績予想は、2024年11月5日修正前の期初予想値としております。

## 決算のポイント

2行合算

### ①コア業務粗利益

**647億円**（前中間期比+67億円）

- ・貸出金利息は、国内金利の上昇による利回り改善やプライムエリアの取組み強化を主因に増加。
- ・有価証券利息は、ポートフォリオの入替えや短中期の円債や外債の積み上げにより増加。
- ・預かり資産関連手数料が順調に増加する一方、役務費用のローン保険料・保証料が増加。

### ②コア業務純益

**247億円**（前中間期比+51億円）

- ・ベア、初任給引上げ等の人的資本投資やシステム関連投資等による経費の増加をコア業務粗利益の改善によりカバーし、増加。

### ③経常利益

**253億円**（前中間期比+103億円）

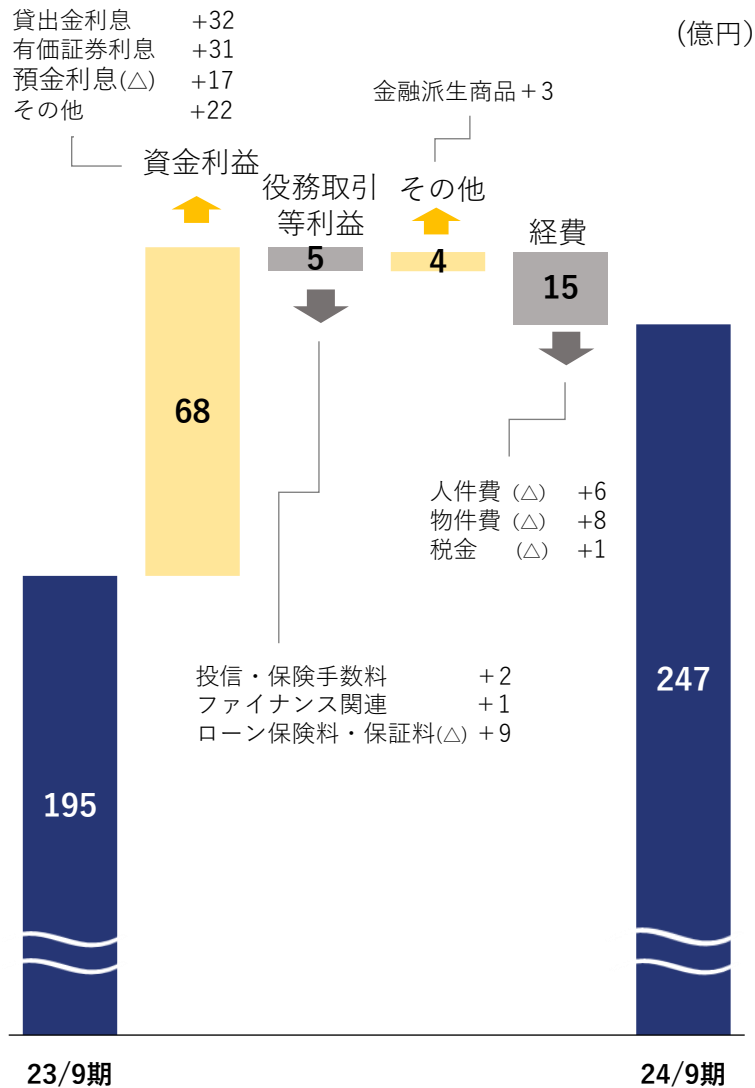
- ・与信関係費用が増加した一方、国債等債券損益の改善もあり大幅な増益。

### ④中間純利益

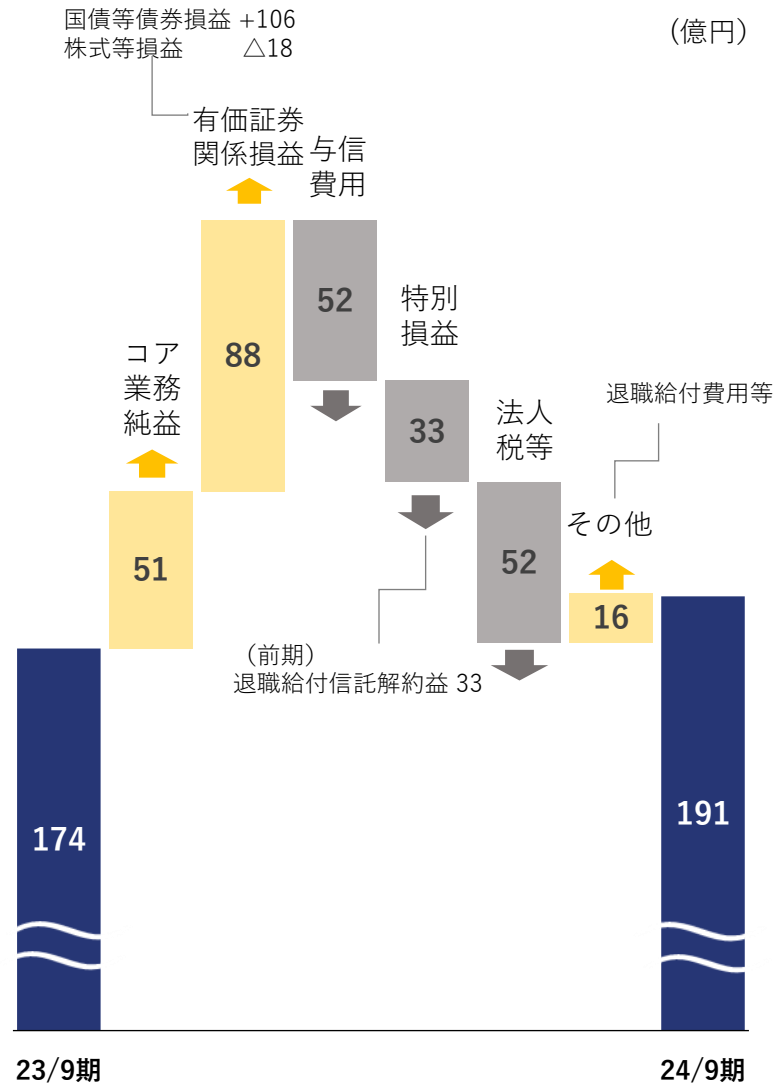
**191億円**（前中間期比+17億円）

- ・中間純利益は期初予想を41億円上回る191億円。

## トップライン (コア業務純益) 増減要因



## ボトムライン (当期純利益) 増減要因



## 北陸銀行

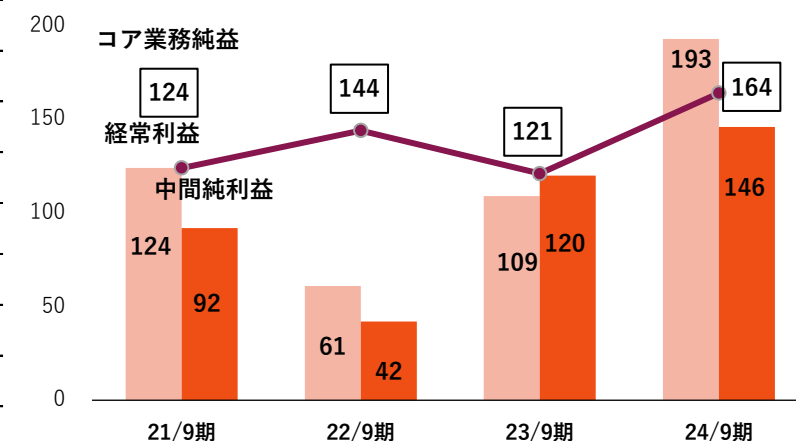
(億円)

	期初予想	24/9期	前中間期比
<b>コア業務粗利益</b> …①	<b>350</b>	<b>374</b>	<b>51</b>
資金利益		<b>300</b>	<b>46</b>
うち貸出金利息		<b>226</b>	<b>18</b>
うち有価証券利息		<b>105</b>	<b>34</b>
役務取引等利益		<b>66</b>	<b>0</b>
その他 (国債等債券損益を除く)		<b>7</b>	<b>4</b>
<b>経費 (△) (臨時処理分を除く)</b>	<b>210</b>	<b>210</b>	<b>8</b>
(参考) OHR		<b>56.19%</b>	<b>△6.29%</b>
<b>コア業務純益</b> …②	<b>140</b>	<b>164</b>	<b>42</b>
投資信託解約損益を除く		<b>166</b>	<b>48</b>
国債等債券損益		<b>△ 20</b>	<b>45</b>
<b>実質業務純益</b>		<b>143</b>	<b>88</b>
与信関係費用 (△)	<b>10</b>	<b>△ 17</b>	<b>△ 10</b>
株式等損益		<b>28</b>	<b>△ 26</b>
<b>経常利益</b> …③	<b>150</b>	<b>193</b>	<b>84</b>
<b>特別損益</b>		<b>△ 4</b>	<b>△ 3</b>
<b>法人税等 (△)</b>		<b>43</b>	<b>56</b>
<b>中間純利益</b> …④	<b>100</b>	<b>146</b>	<b>25</b>

### 決算のポイント

- ①コア業務粗利益は、貸出金利息や有価証券利息の増加を主因に、前中間期比51億円増加の374億円。
- ②コア業務純益は、人的資本投資やシステム関連投資等による経費の増加をコア業務粗利益の改善でカバーし、前中間期比42億円増加の164億円。
- ③経常利益は、株式等損益が減少する一方、国債等債券損益が増加し、与信関係費用が減少したことから、前中間期比84億円増加の193億円。
- ④中間純利益は、前中間期比25億円増加の146億円。

(億円)



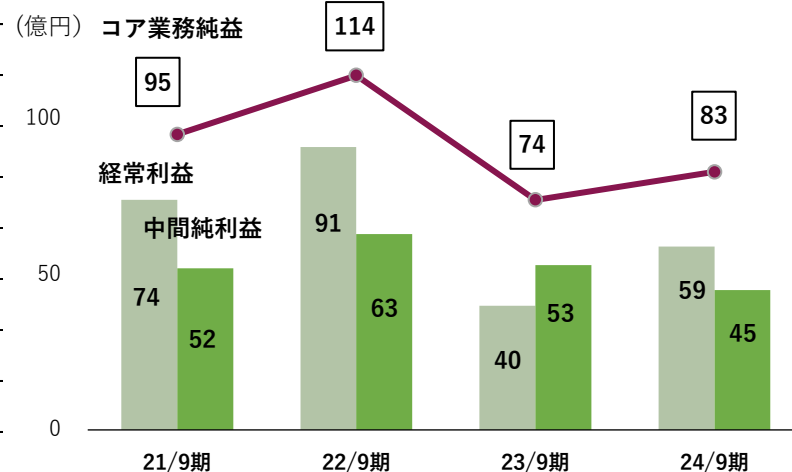
## 北海道銀行

(億円)

	期初予想	24/9期	前中間期比
<b>コア業務粗利益</b> …①	<b>275</b>	<b>272</b>	<b>16</b>
資金利益		<b>249</b>	<b>22</b>
うち貸出金利息		<b>220</b>	<b>14</b>
うち有価証券利息		<b>32</b>	△ <b>3</b>
役務取引等利益		<b>33</b>	△ <b>5</b>
その他（国債等債券損益を除く）		△ <b>9</b>	△ <b>0</b>
<b>経費（△）（臨時処理分を除く）</b>	<b>200</b>	<b>189</b>	<b>7</b>
（参考）OHR		<b>69.43%</b>	△ <b>1.62%</b>
<b>コア業務純益</b> …②	<b>75</b>	<b>83</b>	<b>9</b>
投資信託解約損益を除く		<b>83</b>	<b>9</b>
国債等債券損益		△ <b>5</b>	<b>61</b>
<b>実質業務純益</b>		<b>77</b>	<b>70</b>
与信関係費用（△）	<b>10</b>	<b>37</b>	<b>62</b>
株式等損益		<b>22</b>	<b>7</b>
<b>経常利益</b> …③	<b>65</b>	<b>59</b>	<b>19</b>
<b>特別損益</b>		<b>2</b>	△ <b>30</b>
<b>法人税等（△）</b>		<b>16</b>	△ <b>3</b>
<b>中間純利益</b> …④	<b>50</b>	<b>45</b>	△ <b>7</b>

### 決算のポイント

- ①コア業務粗利益は、貸出金利息等の増加を主因に前中間期比16億円増加の272億円。
- ②コア業務純益は、人的資本投資やシステム関連投資等による経費の増加をコア業務粗利益の改善でカバーし、前中間期比9億円増加の83億円。
- ③経常利益は、与信関係費用が増加した一方、国債等債券損益や株式等損益が増加し、前中間期比19億円増加の59億円。
- ④中間純利益は、前年に特別利益の計上があったことから、前中間期比7億円減少の45億円。



貸出金は、市場金利の上昇に加え、プライムエリアにおける取組み強化により、利回りが改善。有価証券は、ポートフォリオの入替えや短中期の円債や外債の積上げにより利回りが改善し、利息が増加。

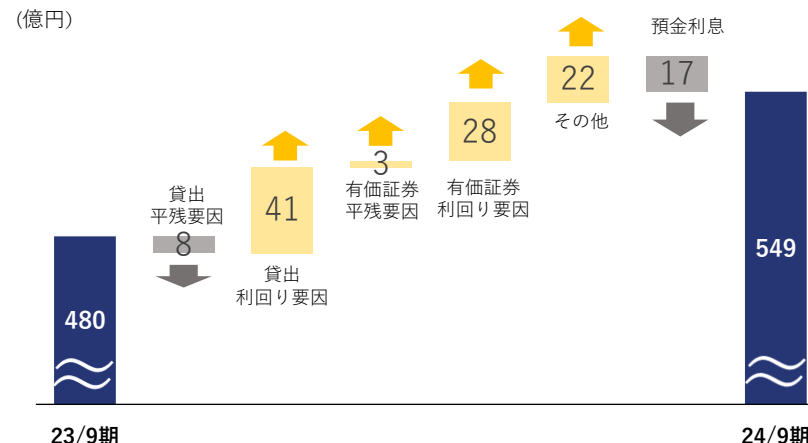
## 資金利益

2行合算

	2行合算		北陸銀行		北海道銀行	
	24/9期	前中間期比	24/9期	前中間期比	24/9期	前中間期比
	(億円)					
<b>資金利益</b>	549	68	300	46	249	22
<b>うち貸出金利息</b>	447	32	226	18	220	14
貸出金平残	94,234	△ 1,950	51,436	△ 591	42,798	△ 1,358
利回り	0.94%	0.08%	0.87%	0.08%	1.02%	0.09%
<b>うち有価証券利息</b>	137	31	105	34	32	△ 3
有価証券平残	18,322	472	10,664	△ 402	7,657	874
利回り	1.49%	0.31%	1.97%	0.70%	0.83%	△ 0.21%
<b>うち預金利息 (△)</b>	23	17	14	9	9	8
預金平残	140,523	3,840	79,318	2,297	61,205	1,542
利回り	0.03%	0.03%	0.03%	0.02%	0.02%	0.02%

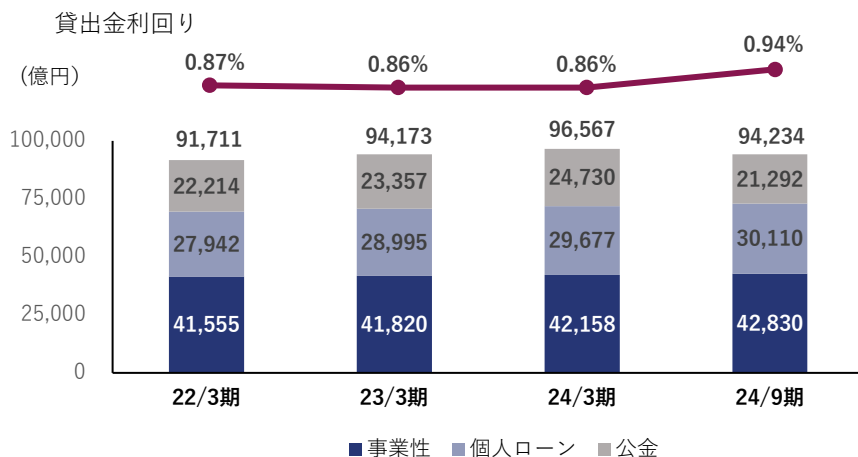
## 資金利益 増減要因

2行合算



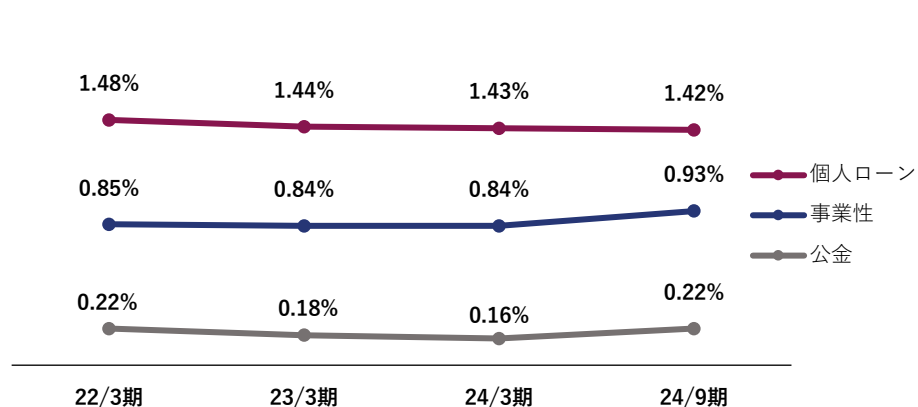
## 貸出金平残・利回り

2行合算



## セグメント別貸出金利回り (円貨)

2行合算



グループ総合力の強化により、預かり資産関連手数料・法人コンサルティング手数料が堅調に推移し、非金利収入は前中間期比6億円増加。

## 非金利収入

億円

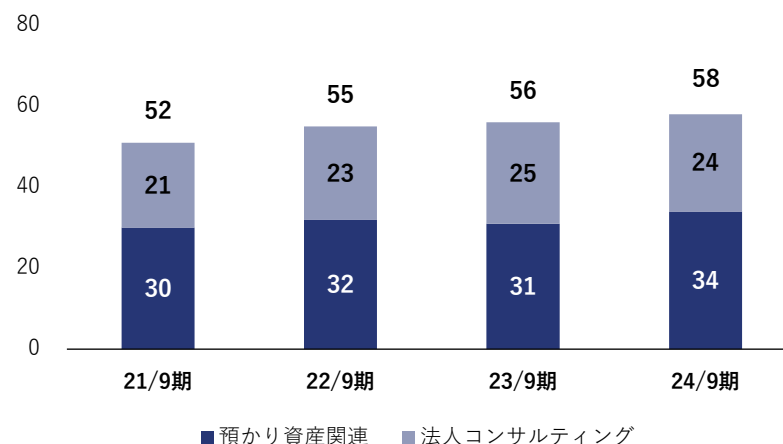
FG連結	24/9期	
		前中間期比
非金利収入	151	6
(主要子会社の状況)		
2行合算	97	△1
役務取引等利益	99	△5
役務取引等収益	180	4
うち受入為替手数料	46	0
うち預かり資産関連手数料	34	2
うち法人コンサルティング手数料	24	△0
私募債・シンジケートローン	12	1
M&A、事業承継、その他コンサル	4	△1
ビジネスマッチング	6	0
役務取引等費用(△)	81	9
うち支払為替手数料(△)	4	0
うちローン保険料・保証料(△)	63	9
特定取引利益	0	0
その他業務利益(除く5勘定戻)	△2	3
ほくほくコンサルティング	2	2
ほくほくTT証券	12	2
北銀リース	4	△0
北陸カード、道銀カード	23	0

※ほくほくコンサルティングは、2024年7月より営業開始

## (参考) コンサルティング手数料の推移

2行合算

(億円)



## (参考) 預かり資産残高推移

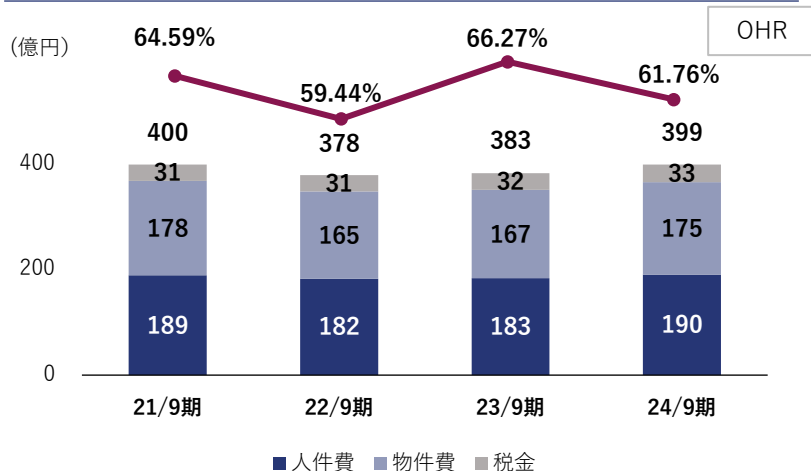
(億円)

		24/9末		24/3末	23/9末	
		24/3末比	23/9末比			
個人向け投資型金融商品	A+B	6,075	56	376	6,018	5,699
合計						
個人向け投資型商品合計	A	4,703	53	196	4,650	4,506
(2行合算)						
ほくほくTT証券(株)の	B	1,371	3	179	1,368	1,192
個人向け投資型金融商品						

ベア、初任給の引上げ等の人的資本投資やシステム更新・デジタル化のシステム関連投資等により、経費は15億円増加。与信関係費用は、一般貸倒引当金が戻入となる一方、個別の引当要因により増加。

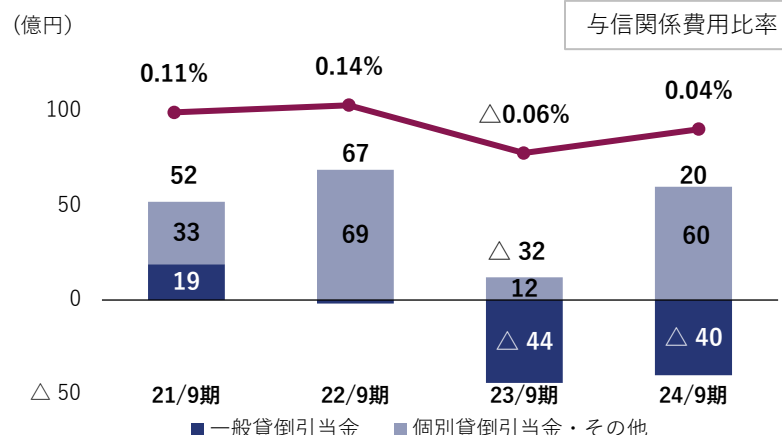
## 経費・OHR

2行合算



## 与信関係費用

2行合算



## 経費内訳

(億円)

	2行合算		北陸銀行		北海道銀行	
	24/9期	前中間期比	24/9期	前中間期比	24/9期	前中間期比
人件費	190	6	103	2	86	3
物件費	175	8	90	5	85	2
税金	33	1	16	△0	17	1
合計	399	15	210	8	189	7

## 与信関係費用内訳

(億円)

	2行合算		北陸銀行		北海道銀行	
	24/9期	前中間期比	24/9期	前中間期比	24/9期	前中間期比
与信関係費用	20	52	△17	△10	37	62
一般貸倒引当金繰入	△40	4	△24	1	△16	2
個別貸倒引当金繰入・その他	60	48	7	△11	53	59

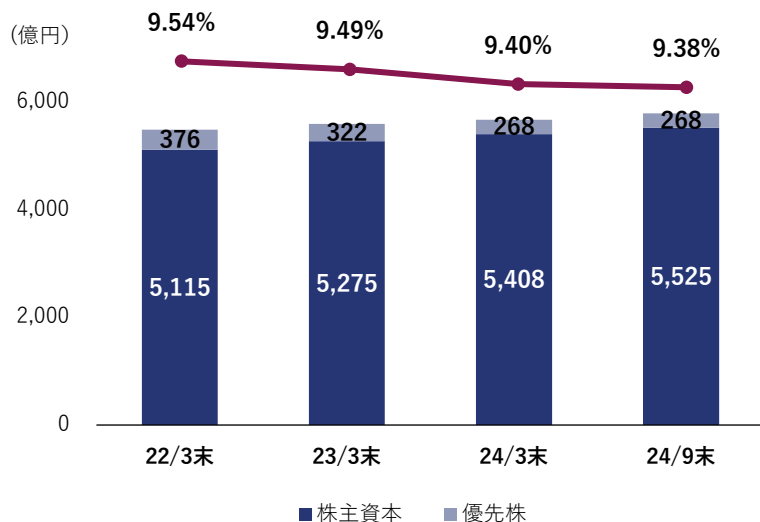


# 自己資本比率

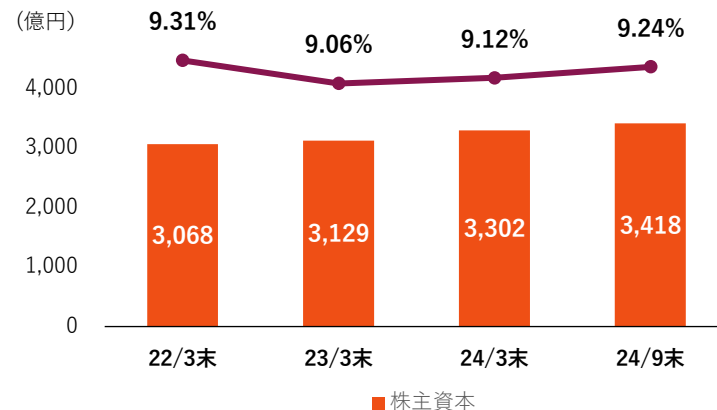
内部留保による自己資本の積み上げを図る一方、自己株式取得や優先株式の償還など機動的な資本政策の実施、事業性貸出・個人ローンの伸長に伴うリスクアセットの増加により、自己資本比率は前期末比0.02%低下の9.38%。

## 連結自己資本比率

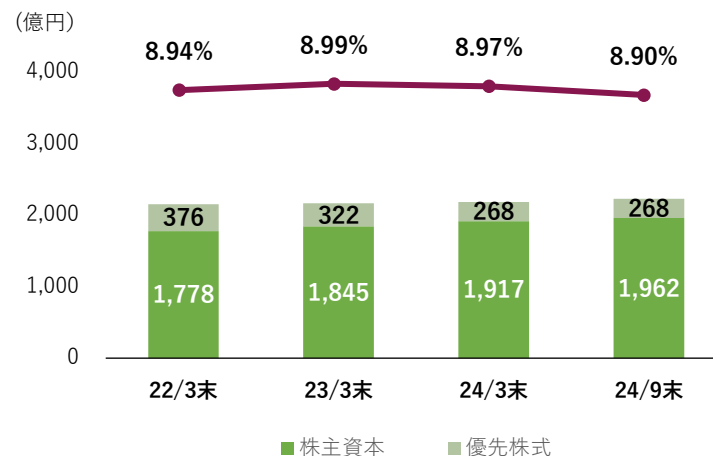
FG連結



北陸銀行



北海道銀行



<バーゼルIII国内基準>

(億円)

	経過措置適用			完全実施ベース		
	24/9末	増減額	24/3末	24/9末	増減額	24/3末
自己資本	5,882	85	5,797	5,605	84	5,521
基礎項目	6,097	70	6,026	5,820	70	5,750
調整項目 (△)	215	△ 14	229	215	△ 14	229
リスクアセット	62,690	1,060	61,630	62,690	1,060	61,630
自己資本比率	9.38%	△ 0.02%	9.40%	8.94%	△ 0.01%	8.95%

中間実績が期初予想を上回ったことなどを踏まえ、中間配当について期初予想比2円50銭の増配を実施。

## 2025年3月期 通期業績予想

(億円)

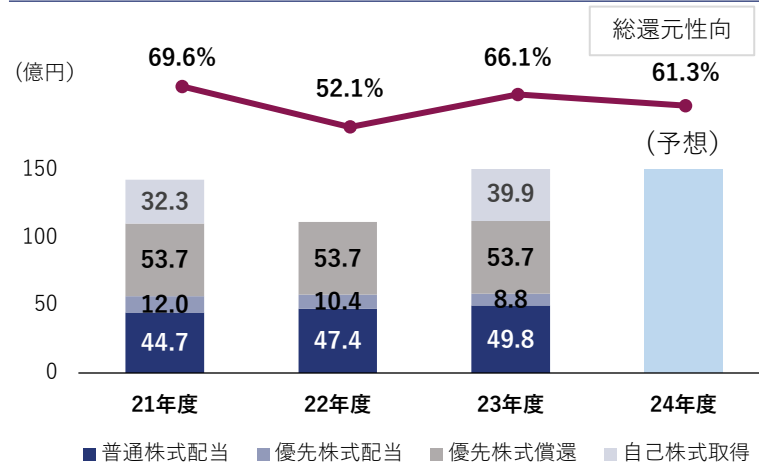
	通期予想	
	通期予想	前期比
F G連結 経常利益	380	148
F G連結 当期純利益 (※)	250	20

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益

(億円)

	2行合算					
			北陸銀行		北海道銀行	
	通期 予想	前期比	通期 予想	前期比	通期 予想	前期比
コア業務粗利益	1,245	57	705	37	540	20
経費 (△)	820	45	430	22	390	24
コア業務純益	425	12	275	16	150	△ 3
与信費用 (△)	60	72	40	40	20	33
経常利益	385	157	255	104	130	53
当期純利益	260	△ 7	165	△ 17	95	10

## 株主還元



※総還元性向 =  $\frac{\text{株式配当額} + \text{株式償還額} + \text{自己株式取得額}}{\text{親会社株主に帰属する当期純利益}}$

## 配当金 (1株あたり)

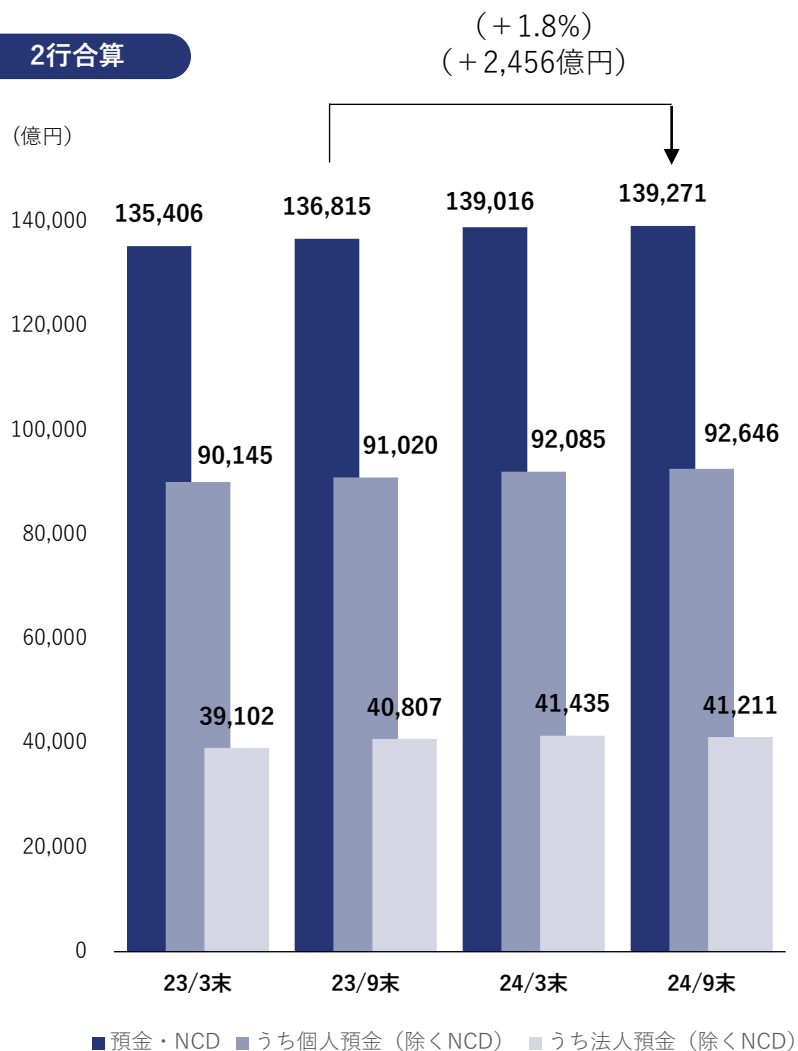
	21年度	22年度	23年度	24年度 (予想)
普通株式	35円 (期末35円)	37円 (期末37円)	40円 (期末40円)	42.5円 (中間22.5円) (期末20円)
優先株式	15円	15円	15円	15円

# 主要勘定

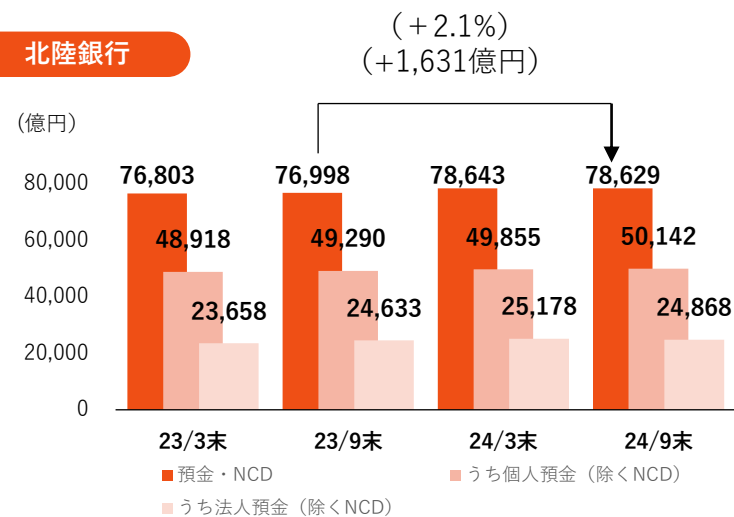
預金・NCD残高は、個人預金が順調に増加し、前中間期比+2,456億円の13兆9,271億円。

## 預金・NCD残高

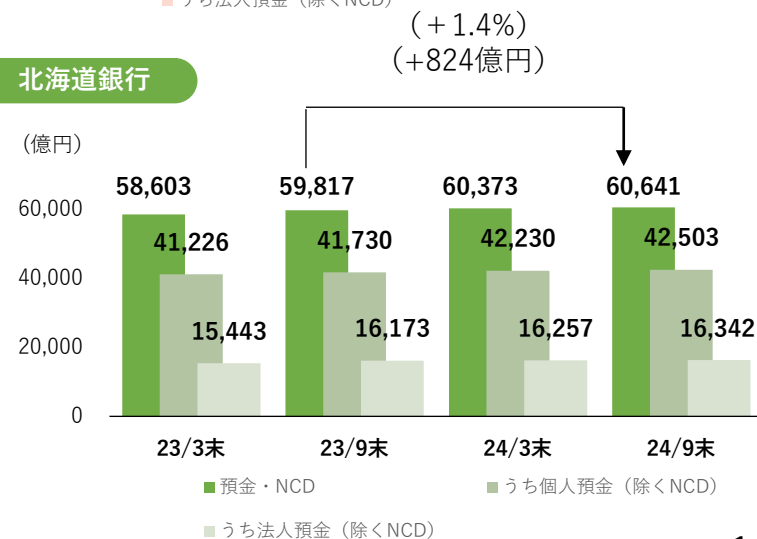
### 2行合算



### 北陸銀行



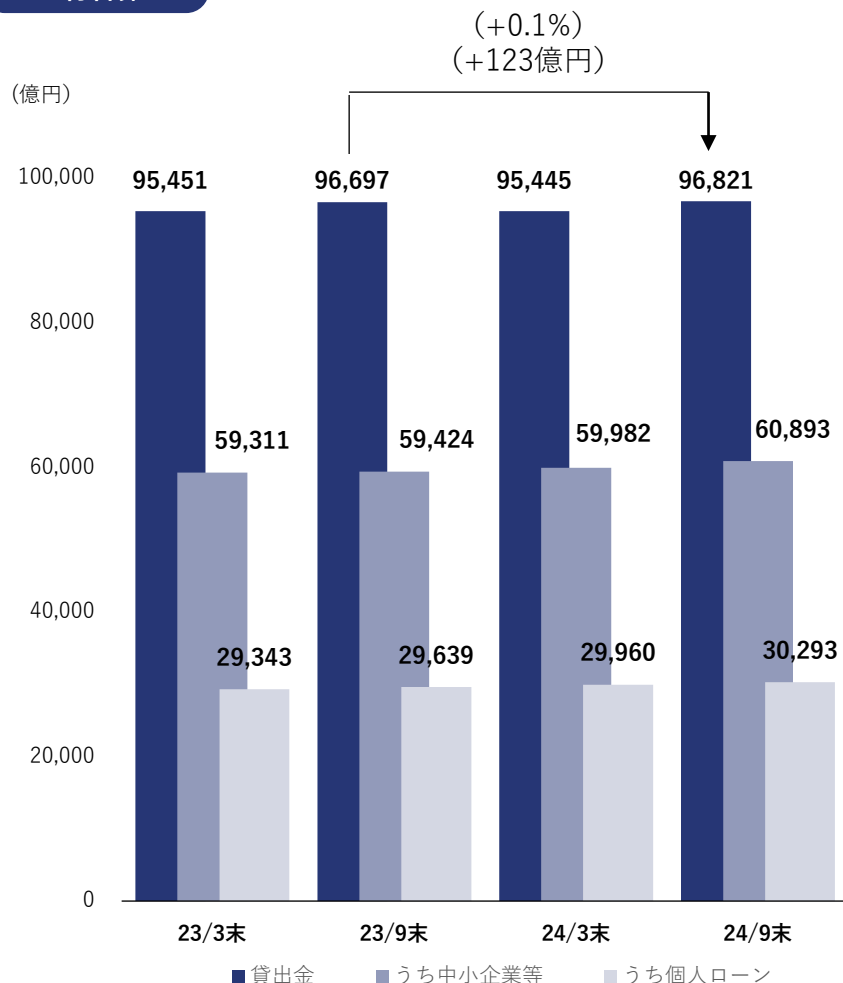
### 北海道銀行



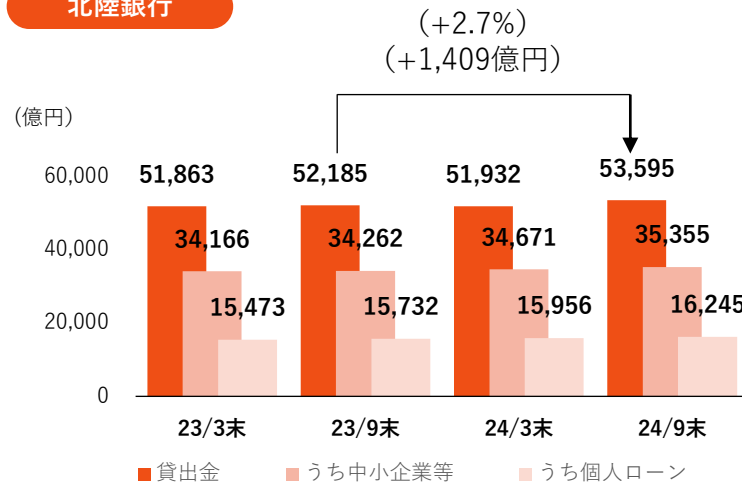
貸出金残高は、中小企業向け貸出および個人ローンが順調に増加した一方、金利情勢を踏まえ低利の公金貸出を抑制したことから、前中間期比+123億円の9兆6,821億円。

## 貸出金残高

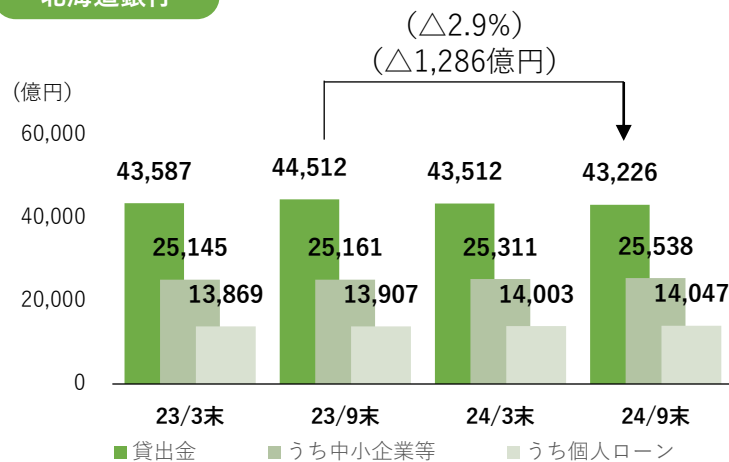
### 2行合算



### 北陸銀行



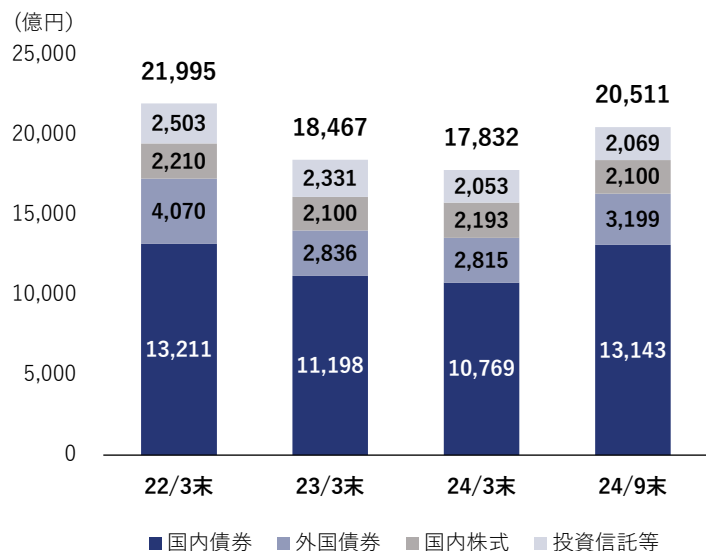
### 北海道銀行



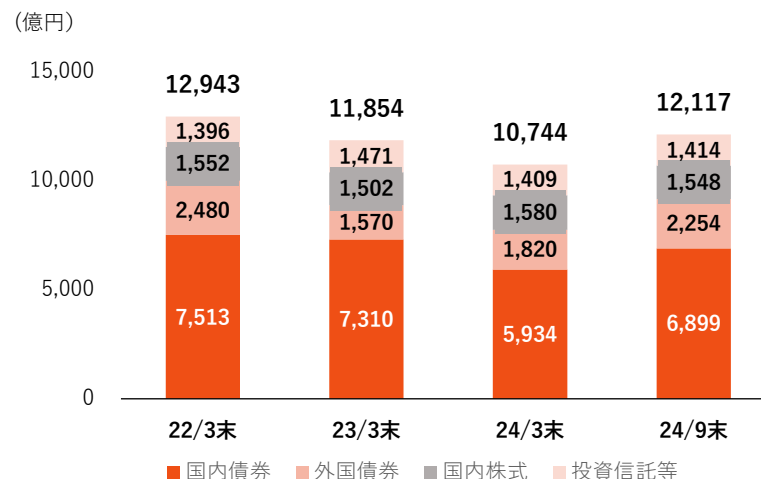
有価証券残高は、金利上昇の可能性も踏まえ短中期債を中心に積み上げ、前期末比+2,679億円増加の2兆511億円。債券のデュレーションは短期化。

## 有価証券残高

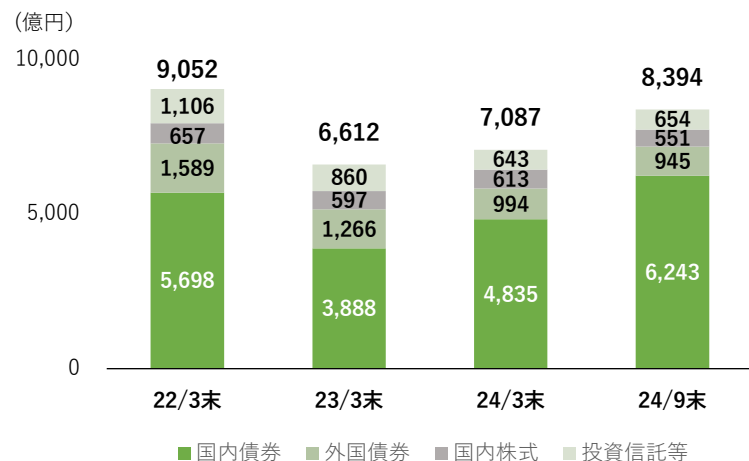
2行合算



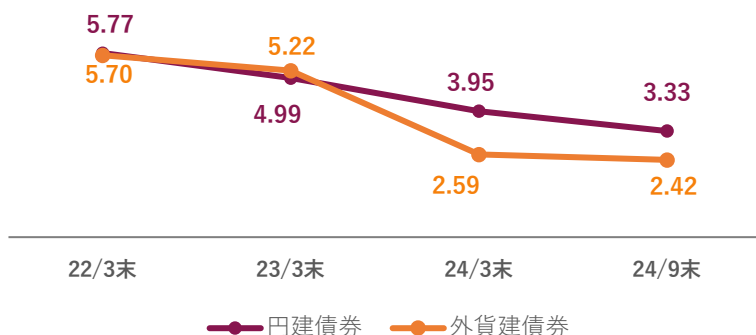
北陸銀行



北海道銀行



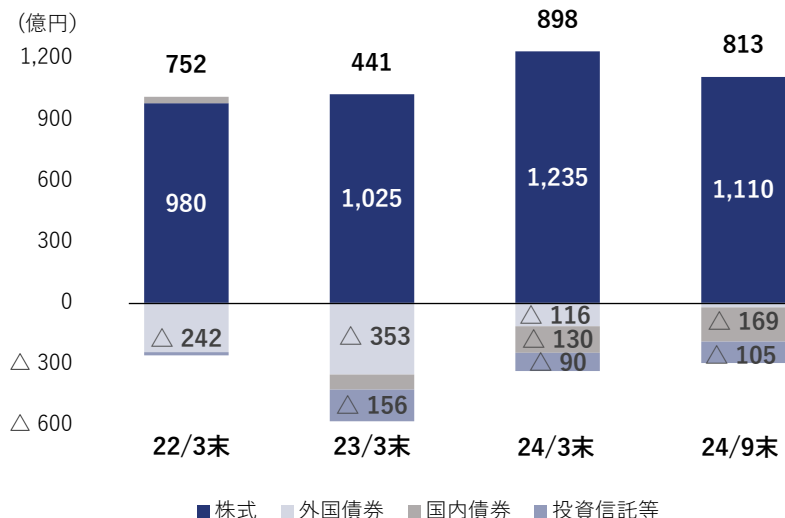
## 【債券デュレーション（ヘッジ考慮後）】



評価損益は、株式・国内債券中心に悪化したものの、外国債券は改善し、総体では813億円を確保。

## 有価証券評価損益

2行合算



## 有価証券関係損益

2行合算

	24/9期	
	24/9期	前中間期比
国債等債券損益	△26	106
売却益	0	△34
償還益	-	-
売却損(△)	22	△139
償還損(△)	2	△2
償却(△)	2	0

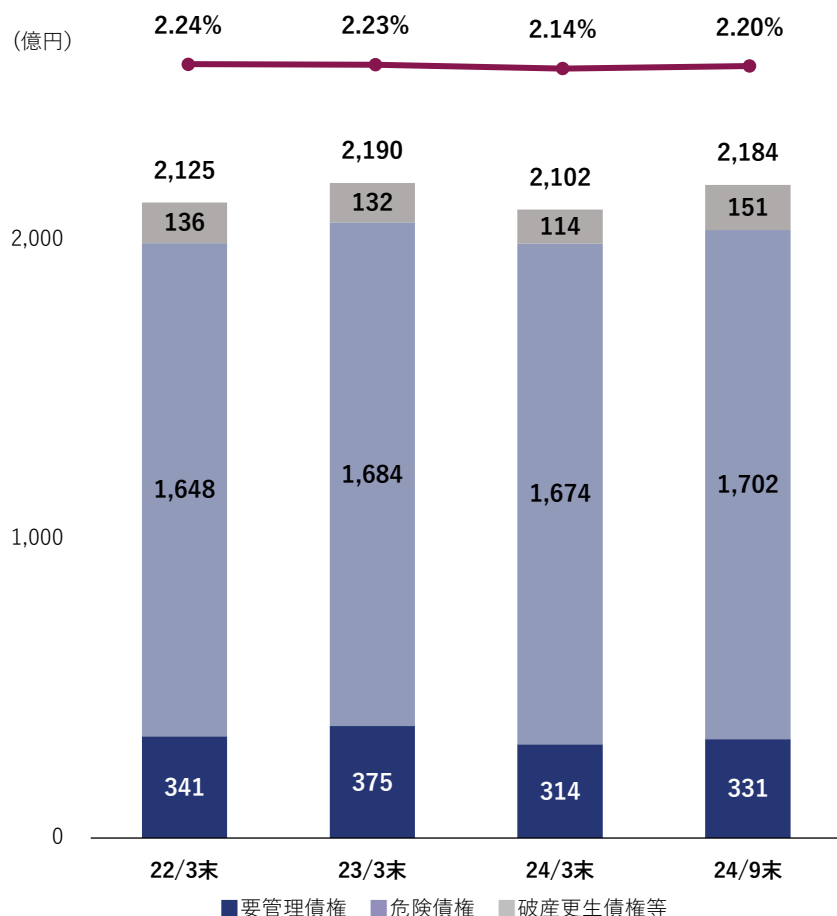
株式等損益	50	△18
売却益	58	△27
売却損(△)	6	△2
償却(△)	0	△5

	2行合算		北陸銀行		北海道銀行	
	2024/9末	前期末比	2024/9末	前期末比	2024/9末	前期末比
その他評価損益	813	△84	761	△70	51	△13
株式	1,110	△124	839	△89	271	△35
国内債券	△169	△39	△91	△23	△78	△15
外国債券	△22	94	53	68	△75	26
投資信託等	△105	△15	△39	△25	△66	10

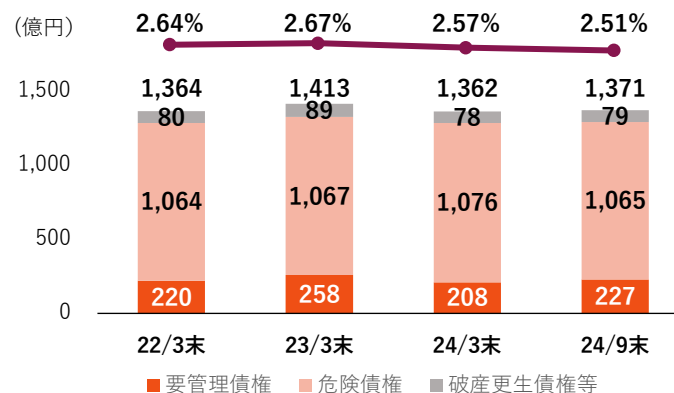
金融再生法開示債権比率は前期末比0.06ポイント上昇の2.20%。北陸銀行における令和6年能登半島地震の財務への影響は限定的。

## 金融再生法開示債権

### 2行合算



### 北陸銀行



### 北海道銀行

